

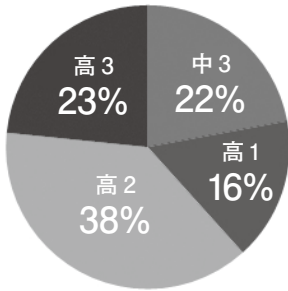
コンクール事業

グランミューズ部門 Jカテゴリー初開催

今年度より新設されたグランミューズ部門Jカテゴリー！
中学3年生から高校3年生を対象とした自由曲参加のカテゴリーです。初年度の今年は全国42地区で延べ154名が
予選に参加しました。

のぞいてみよう! Jカテゴリー

参加者の学年分布



高校生活にも慣れた
高校2年生での参加
が最も多くなっています。

人気作曲家ベスト5

順位	作曲家名	選取人数
第1位	ショパン	29
第2位	ベートーヴェン	28
第3位	プロコフィエフ	15
第3位	リスト	15
第5位	ドビュッシー	12

お馴染みのショパン
はもちろん、ベートー
ヴェンのソナタを演奏
する方も多数いま
しました。中には呂文成・
王建中など中国作品
で参加する方も。バラ
エティに富んだ選
曲が出そろいました。

Jカテゴリー参加者の声

部活とコンペ参加を両立

本田実沙さん(グランミューズ会員・高1/大阪府)、お母様:本田広美さん(支持会員)

吹奏楽部やトランペットの練習と両立しながらピアノを続けているという本田実沙さん。以前モーツァルト音楽コンクールに参加した際の課題曲で、今回Jカテゴリーに参加しました。「部活が終わってからの練習は大変ですが毎日頑張っています。人前で演奏することは好きですが緊張しやすいタイプなので、これからもコンクールで経験を積んで、ステージで楽しく演奏できるようになりたいです」と実沙さん。「忙しい中でもコンクールに参加することで目標ができ、レッスンの励みになっているようです。ステージに立つ緊張感にはピアノの腕だけでなく精神面も鍛えてくれています」とお母様の広美さん。



右:福井亜貴子先生、中央:本田実沙さん、左:本田菜摘さん(妹さん)
実沙さんはJカテゴリーの他に、妹さんとペアで連弾初級Bにも参加。

指導者の先生に伺いました!

福井亜貴子先生(正会員)

ふくいあきこ◎学園前ステーション代表

生徒一人ひとりの希望を最大限サポート

本田さんは以前取り組んだ曲をさらに深めるなど、やると決めたことにきちんと取り組める忍耐強さを持っています。私の教室ではピアノ以外のことも楽しんでいる生徒さんが多いですが、中高生になるとスケジュールの管理は全て本人に任せています。もちろん予定通りにこなせず失敗することもあります。失敗は成功のもと、原因を見直すチャンスととらえ一喜一憂しないようにしています。音大を目指す人、趣味でJカテゴリーに参加する人、音楽の道には進まないけれどEF級に参加する人、いろいろな生徒さんがいますが、いずれにしても本人のやりたいことには最大限のサポートをしてあげたいと思っています。

Jカテゴリー指導者の声

自由曲で真剣勝負

福井達子先生(指導会員/兵庫県)

ふくいたつこ◎ 2013 指導者賞受賞。中3～高3の4名の生徒さんがJカテゴリーに参加。



四期の課題曲を勉強することはとても大切ですが、勉強や部活が忙しい中高生にとって、同時期に4曲を仕上げるといのはなかなか大変なことです。ピアノもそれ以外の予定も含めた一人ひとりの状況にあわせて、融通をきかせながら参加できるのがJカテゴリーの魅力ですね。昨年までは課題曲でしか参加できなかった中3の生徒が、今年から自由曲で参加できるのも嬉しい点です。曲についてはコンクールの

ために特別に選ぶということはずに、生徒がその時に勉強している曲で参加しています。普段のレッスンの延長線上であればぜひ挑戦したいと、生徒たちから参加を希望してくれました。生徒たちにとって「全国決勝大会を目指して!」という目標は、課題曲参加であっても自由曲参加であっても変わらないようで、チャレンジ精神を忘れずに真剣な姿勢で取り組んでくれています。

Jr.G級のためのマスタークラス開催

日程：6月28日・29日

協賛・会場協力：洗足学園音楽大学

2014年度「Jr.G級のためのマスタークラス」が開講され、全国決勝大会に進出している14名の生徒たちが、アンドレア・ボナッタ先生(エッパン国際ピアノアカデミー主宰)のレッスンと、西尾洋先生(指導会員、上野学園大学講師)のアナリゼ

和やかに談笑する生徒たちの笑顔が印象的でした。このマスタークラスを糧に、8月19日、14名が全国決勝大会に挑みます。

クラスの講義を受講しました。

ボナッタ先生は、2日間、計13時間以上に及ぶレッスンにおいて、若いピアニストたちを終始笑顔と優しい言葉で励ましながら、音楽の喜びと普遍的な原則を伝えてくださいました。また、西尾先生のアナリゼクラスでは、ふだん勉強している作曲家たちが、その作品の中にどんな「遊び」をこめたかをひも解いていく楽しさが伝えられました。1日目の夜に行われた懇親会では、ボナッタ先生に楽譜片手に質問したり、お互いに携帯アドレスを交換したり、



マスタークラスに参加した14名とボナッタ先生・西尾先生



ボナッタ先生からメッセージを受け取る受講者たち